

## 情報公開文書

課題名 : カテーテルアブレーション全国症例登録研究 (J-AB 2022)

研究期間 : 倫理委員会承認日～2030年3月31日

### 1. 研究の対象

2022年1月1日～2026年3月31日の期間に当院でカテーテルアブレーション治療を受けた方

### 2. 研究目的・方法

わが国において、不整脈に対するカテーテルアブレーション治療は増加しつづけ、いまや全国500を超える施設において日々の診療として、年間10万例以上の手術がされています。ここまで発展してきたアブレーション治療ですが、実際の治療方法や効果に関する情報は一部の施設からの報告に限られており、日本全体での現状が把握されていません。今後さらにカテーテルアブレーション治療の対象となる不整脈や患者さんが増えることを考慮しても、現時点からわが国全体のアブレーション治療の現状を把握する必要性が高まっています。アブレーション治療全例登録によりデータの蓄積が進むことで合併症発生の予測等の個別化医療に用いることができると考えられ、2017年よりJ-AB（カテーテルアブレーション全例登録プロジェクト）が開始されました。

本研究ではさらに必要な情報等を追加した上で全国のカテーテルアブレーション治療実施医療機関からカテーテルアブレーション治療に関する情報を収集し、日本におけるカテーテルアブレーション治療の現状を把握し、不整脈診療におけるカテーテルアブレーション治療の有効性・有益性・安全性およびリスクを明らかにすることを目的としています。本研究の成果は、将来の不整脈の診断・治療に役立つだけでなく、テーラーメイド医療（個別化医療）の実現化を推進することに繋がることが期待されます。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、年齢、身長、体重、症状、不整脈診断名、不整脈の原因、血液検査、心臓超音波検査、カテーテルアブレーション手術日とカテーテルアブレーション手術方法、合併症、術後結果、術後合併症、退院時情報（退院日・退院時転帰）、手術1年後の生存の有無、不整脈再発の有無 等

### 4. 外部への試料・情報の提供

本研究では、以下の機関に、試料・情報等を提供いたします。

提供先の機関：国立研究開発法人 国立循環器病研究センターOIC 情報利用促進部 J-AB データセンター

責任者の職名：特任部長

責任者の氏名：岩永善高

〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町6番1号

提供方法：本研究で収集した情報を、機密性や安全性の措置が講じられたクラウド型の臨床情報収集システムに入力いたします。

上記機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

研究代表者：山根 禎一

所属研究機関：一般社団法人 日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション委員会委員長（東京慈恵会医科大学 循環器内科・教授）

他、全国のカテーテルアブレーション実施施設

日本心電不整脈学会 J-AB 公式ホームページ <http://j-ab.ncvc.go.jp/>

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

浜松医療センター 循環器内科 武藤 真広(研究責任者)

〒432-8580 浜松市中区富塚町 328

TEL：053-451-2784

研究代表者：山根 禎一（一般社団法人 日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション委員会委員長 東京慈恵会医科大学 循環器内科・教授）